

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年7月1日掲載

3年2組 上村 美憂

1週間のならし登校を終え、率直にこれからの生活や勉強が心配だなと感じました。今はコロナウイルス感染拡大前と比べて、様々な制限があり、思うように生活ができません。

特に今年は、受験生なので勉強は心配になります。授業など、皆で勉強できる時間が減り、普通の学校生活も上手くいかないことが多くなりました。しかし、私は今が一番踏ん張り時なのではないかと思います。今を乗り越えれば、少なくとも今よりも動きがしばらくはなくなるはずです。小さな子どもからお年寄りまでみんな同じ状況なので「自分一人くらい…」と思わずに、今この状況だからこそできることを精一杯やろうと思います。普通に学校へ行けて、友達と会えることがどんなに良いことだったのかを、この休校を通して学ぶことができました。当たり前だと思っていた生活は、本当は当たり前ではなく、とても素晴らしいことだということも分かりました。心配な勉強も遅れている分、もっと自分で勉強したり、分からない問題はそのままにせず、友達に聞いたり先生に聞いたりするなどし、完全に理解することが最も大事なことだと思います。

今回の長い休校を通して、これから訪れる当たり前の日々をもっと大切に過ごしていきたいと思っています。